

●編集後記

環境科学部がスタートして5年。環境と調和した人間社会の構築に資する有為な人材の育成を目指し、教育研究活動に取り組んできました。この間、学科・専攻の独自性を追求するとともに、共同研究やフィールドワーク等の活動を通して、領域間の交流を図り、成果を見てきたところです。

一方、平成11年度には、大学院修士課程を設立し、さらに平成13年度を目途に、大学院博士課程の設立準備を進めるなど、教育研究の高度化、活性化、個性化に対する社会の要求に応えるために全学的に努力している状況にあります。環境科学の先端性、国際性への対応等、社会の期待の大きさを考えると、学部としての教育研究の真価が問われるのは、まさにこれからです。

学部年報の編集では、特集テーマとして、第1号「環境学の素顔」、第2号「環境科学部の教育」、第3号「フィールドワークの地平」を取り上げ、広く学内外に環境科学部の教育研究に対する独自の取り組みについて、発信してきました。これらの成果の上に、第4号では、「環境科学部の研究室活動」をテーマとし、研究室プロフィールの共有化を図るとともに、教員相互の理解を深め、今後の教育研究活動の活性化に役立てることを目指しました。

執筆の傾向を見ると、研究分野及びテーマの紹介、研究活動の報告、学生指導を通しての研究室紹介などにわかれています。このことは、研究、教育、実践の調和を目指す本学部の特色が反映されたものと考えます。また、本号では、1998年度、1999年度卒業生の卒業研究／制作タイトルを掲載しました。学部の教育研究活動に関するデータの一部として、活用していただければ幸いです。

学部の顔づくり委員会

（委員長）奥貫 隆 （委員）村瀬 潤、石川義紀、迫田正美、吉田十一

環境科学部年報第4号 環境科学部の研究室活動

発行日	2000年3月31日
発行所	滋賀県立大学環境科学部 滋賀県彦根市八坂町2500 TEL：0749-28-8301
発行人	小 池 恒 男
印刷所	サンライズ印刷株式会社